

メディア利用が青少年の性行動に及ぼす影響 (2)

— 性的情報収集目的のメディア利用 —

○安藤玲子¹・樫淵めぐみ²・鈴木佳苗²・桂瑠以³・熊崎あゆち³・坂元章³
(¹金城学院大学, ²筑波大学, ³お茶の水女子大学)

キーワード：性経験, 性的情報収集, メディア利用

目的

本稿(一連研究の(2))では、性的情報収集目的でのメディア利用量が性行動に与える影響について報告する¹。

方法

調査時期 2009年12月と2010年6~7月の2回。

調査対象者 2回の調査に回答した全国の高校1~2年生721名(男子314名・女子407名)を分析対象とした。

調査内容

性的情報収集目的でのメディア利用の有無 a)恋愛を成功させる秘訣を知りたいとき、b)セックスの方法などを具体的に知りたいとき、c)恋愛で起きたトラブルを解決したいとき、の3つの性的情報収集目的でのメディアや口コミなどの情報源の使用を尋ねた。具体的には①小説やマンガ²、雑誌、②TVや映画、DVD、③恋愛テクニックのサイト、④TVゲーム、⑤ネットで相談、⑥ネットや雑誌の他人の体験談、⑦友だちなどに聞く、⑧保護者や親戚などに聞く、について、「まったくしない(1)」から、「よくする(4)」までの4件法で尋ねた。分析では、利用の有無で、2値変換した値を用いた。

性行動の経験の有無 一連研究(1)と同様の6つの性行動について経験の有無を尋ねた。

デモグラフィック変数 学校と性別を尋ねた。

手続き クラスごとに一斉実施し、その場で回収した。

結果と考察

分析方法 一連研究(1)と同様に、2時点目の性行動

の経験の有無を従属変数、1時点目の性的情報収集目的でのメディア利用の有無を独立変数とするロジスティック回帰分析を行った。分析では、従属変数の性行動を調査1時点目で経験していない者を対象とし、男女別に行った(詳細な手順は一連研究(1)の稿を参照のこと)。

性的情報収集目的でのメディア利用と性行動 表1にロジスティック回帰分析で有意となったオッズ比を示す。男子では、小説やマンガなどの活字メディア、TVや映画などの映像メディアの利用、友だちに聞くなどの口コミがデートやキスの経験に正の効果を持っていた。また、ネットでの相談は、セックスやコンドーム使用の性経験やSTD検査の受診に正の効果を持ち、保護者などへの相談からも、STD検査の受診に正の効果が見られた。

一方、女子では、TVや映画などの映像メディアの利用がキス経験に、恋愛テクニックのサイト利用はデート経験にそれぞれ正の効果を持っていた。また、友達に聞くなどの口コミは、キスやペッティング、セックスなどの性経験に正の効果を持っていた。

本研究の結果、男女ともに映像メディアが性行動の初期段階を促進し、友人などの口コミは男子では性行動の初期段階、女子ではより進んだ段階にまで影響することが示された。また、男子では性行動のより進んだ段階においてネットが影響力を持つ可能性が示された。

¹注:本研究は、三菱総合研究所、安心ネットづくり促進協議会と連携して行われた(樫淵・安藤, 2011)。調査実施にあたり、総務省の協力を得た。

表1 性的情報収集目的のメディア利用量が性行動に及ぼす影響 (オッズ比)

		デート	キス	ペッティング	セックス経験	コンドーム使用	コンドーム不使用	STD検査
男子	I. 恋愛を成功させる秘訣を知りたいとき							
	ネット相談				5.45*	5.52*		
	友だちなどに聞く	3.46**	4.08**	2.60*				
II. セックスの方法などを具体的に知りたいとき	ネット相談							11.88*
	保護者などに聞く							14.30*
	友だちなどに聞く							
III. 恋愛で起きたトラブルを解決したいとき	小説やマンガ、雑誌	4.26*						
	テレビや映画、DVD		3.80*					
	TVゲーム							20.71*
	友だちなどに聞く	3.28*	3.87**					
女子	I. 恋愛を成功させる秘訣を知りたいとき							
	テレビや映画、DVD		2.70*					
	恋愛テクニックのサイト	3.73**						
II. セックスの方法などを具体的に知りたいとき	友だちなどに聞く		3.60**					
	友だちなどに聞く							
III. 恋愛で起きたトラブルを解決したいとき	友だちなどに聞く			3.01**	3.37*	3.00*		

注1. 有意な影響関係が示されたもののみ記載した。** $p < .01$, * $p < .05$